

各 位

中野区保健所長

中野区感染症発生動向調査情報集計結果の送付について

中野区の平成29年第36週(9月4日～9月10日)分情報、東京都・全国情報を下記のとおり送付いたします。中野区分につきましては最新の情報を提供しております。なお、速報性を優先していますので調査結果によっては、後日、情報が訂正されることがあります。

記

1 中野区集計

- ① 全数届出患者数一覧(中野区届出分)
 - ② 定点報告疾患集計(中野区届出分)
- 2 東京都感染症情報センター 感染症週報(第35週)
 - 3 厚生労働省/国立感染症研究所 IDWR感染症週報(第34週・抜粋)

区内定点よりの調査票通信(36週速報)

・定点からの通信は特にありません。

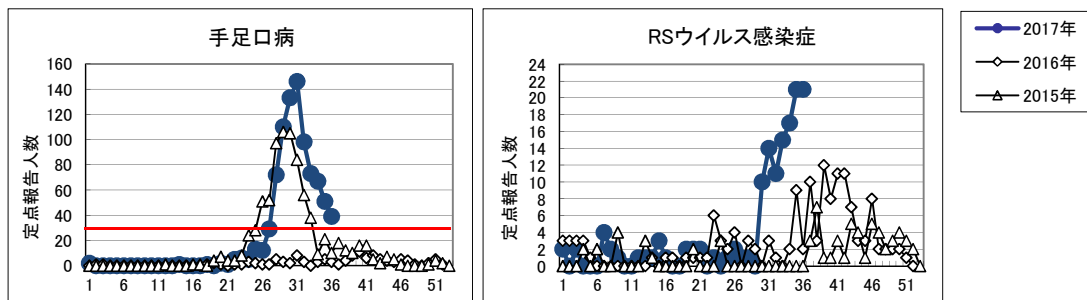
コメント

●手足口病の定点報告数は第31週をピークに減少して来ていますが、今だ患者数の多い状態が続いています(39人、定点当り6.5人)。

○ヘルパンギーナの定点報告数が再びやや増加しました(13人、定点当り2.2人)。

●RSウイルス感染症の定点報告数は引き続き多い状態が続いています(21人、定点当り3.5人)。

RSウイルスは咳やくしゃみによる飛まつ感染や、子ども同士の触れ合い等による接触感染でうつります。どの年齢でも再感染は起こりますので、子どもの年齢に応じて、手洗いや咳エチケットなどでの予防を心がけましょう。



○今週、2類の全数届出として結核が2人報告されました。患者さんは30歳代の男性(肺結核)、および90歳代の女性(肺結核、喀痰塗抹陽性)です。

○今週、3類の全数届出として腸管出血性大腸菌感染症(O111,VT1VT2陽性)が報告されました。患者さんは70歳代の男性で、腹痛、水溶性下痢等の症状がありました。

●第35週の都週報では55件の梅毒が報告され、週単位の報告では過去最高となりました。患者数は増加傾向にあり、中でも20歳から30歳代の女性患者が増えています。

治療せずに放置すると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあり、また、妊娠している女性が梅毒に感染すると先天梅毒児が生まれる可能性もあります。

症状が消えても、梅毒は抗生物質で治療しない限り完治しません。感染が疑われる場合は早めに医療機関を受診しましょう。

中野区感染症発生動向調査週報

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/402000/d001703.html>

①-1 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 一類から四類感染症まで

分類	疾病名	32週	33週	34週	35週	36週	2017年 報告数
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう(天然痘)						
	南米出血熱						
	ベスト						
	マールブルグ病						
二類	ラッサ熱						
	急性灰白髄炎						
	結核	2		2		2	60
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(SARS)						
	中東呼吸器症候群(MERS)						
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)						
	鳥インフルエンザ(H7N9)						
	コレラ						
	細菌性赤痢						
	腸管出血性大腸菌感染症	4	3	2		1	10
四類	腸チフス						
	パラチフス						
	E型肝炎						
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)						
	A型肝炎						
	エキノコックス症						
	黄熱						
	オウム病						
	オムスク出血熱						
	回帰熱						
	キャサヌル森林熱						
	Q熱						
	狂犬病						
	コクシジオイデス症						
	サル痘						
	ジカウイルス感染症						
	重症熱性血小板減少症候群(※注)						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱						
	つつが虫病						
	デング熱						
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱						
	日本脳炎						
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症						
	ベネズエラウマ脳炎						
ヘンドラウイルス感染症							
発疹チフス							
ポツリヌス症							
マラリア							
野兔病							
ライム病							
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽						1	
レジオネラ症						1	
レプトスピラ症							
ロッキー山紅斑熱							

※注: 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

①-2 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 五類感染症

分類	疾病名	32週	33週	34週	35週	36週	2017年 報告数
五類	アメーバ赤痢				1		2
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)						
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						
	急性脳炎						
	クリプトスポリジウム症						
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1
	後天性免疫不全症候群	1		1			7
	ジアルジア症						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						
	侵襲性髄膜炎菌感染症						
	侵襲性肺炎球菌感染症						1
	水痘(入院例に限る)						
	先天性風しん症候群						
	梅毒		1	2			15
	播種性クリプトコックス症						
	破傷風						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
	風しん						1
麻しん							
薬剤耐性アシネトバクター感染症							

② 定点報告疾患集計(中野区分)

定点種別	疾病名	32週	33週	34週	35週	36週	2017年 報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	1	2	1	1		2984
小児科	RSウイルス感染症	11	15	17	21	21	139
	咽頭結膜熱	4	2	1	2	4	174
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3	5	11	9	413
	感染性胃腸炎	26	20	15	22	23	1810
	水痘			1		1	114
	手足口病	98	73	67	51	39	866
	伝染性紅斑	2			1	1	58
	突発性発疹	3	1	2	2	2	162
	百日咳						
	ヘルパンギーナ	7	11	8	4	13	151
	流行性耳下腺炎			2		2	74
	不明発疹症			2			5
	MCLS(川崎病)					1	2
眼科	急性出血性結膜炎						1
	流行性角結膜炎		1		2	1	12
基幹	細菌性髄膜炎						
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎						
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(※注)						

※注:病原体がロタウイルスであるものに限る。

中野区の定点

インフルエンザ定点数	10	10	10	10	10	10
小児科定点数	6	6	6	6	6	6
眼科定点数	1	1	1	1	1	1
基幹病院定点数	0	0	0	0	0	0
性感染症(STI)定点 [月報]	2	2	2	2	2	2